

2015年1月27日
株式会社みずほ銀行

スロバキア投資・貿易開発庁および オーストリア経済振興公社との業務協力覚書の締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：林 信秀）はスロバキア投資・貿易開発庁（以下「SARIO」）およびオーストリア経済振興公社（以下「ABA」）とそれぞれ業務協力に関する覚書を1月26日付で締結しました。

中・東欧エリアは西欧諸国を中心とする海外からの直接投資を原動力として、経済成長を続けています。特に世界の自動車メーカーからの投資が集中しており、中・東欧市場のみならず、世界の市場を見据えた生産・輸出拠点として生産能力の強化が進められており、今後も製造業を中心とした経済成長が見込まれています。

スロバキア共和国はユーロ導入国であるメリットを活かして、欧州内にて製造業の誘致を積極的に行っています。同国にはドイツ系、フランス系、韓国系自動車メーカーが製造拠点を有しており、そのサプライヤー企業である自動車部品等の製造業の進出が進み、産業クラスターが形成されています。

また、オーストリア共和国は西欧の最東部に位置し、西欧企業の製造拠点の多くを擁する中・東欧3カ国（チェコ、スロバキア、ハンガリー）と国境を接する地理条件と安定した経済・インフラ基盤から、各国の多国籍企業が中・東欧統括拠点を設置しています。

2014年12月末現在、スロバキアに約50社、オーストリアに約90社の日系企業が進出しており、更なる進出が見込まれます。

外国企業の進出を支援する政府機関であるSARIO、ABAとの本覚書により、同機関が持つ豊富な情報を活用し、スロバキア、オーストリアへの新規進出や現地企業との連携を検討している日系企業を中心としたお客さまへの支援体制の充実を図ります。当行はポーランド、ハンガリー両国の投資促進機関とも業務協力覚書を締結しており、今般のSARIO、ABAとの覚書締結を含めて、今後の経済成長および日系企業進出が見込まれる中・東欧エリアを広くカバーすることにより、進出支援やビジネスマッチング等の質の高いサービスを提供し、お客さまのニーズを幅広くサポートしていきます。

以上